

TICAD IV

年次進捗報告2009年
(ダイジェスト版)



YOKOHAMA 2008

第 二回TICAD閣僚級フォローアップ会合は、2009年の日本の政権交代を背景に、タンザニアのアルーシャで開催される。鳩山由紀夫総理大臣は、2009年9月の国連総会で外交政策について初の主要演説を行い、「TICADプロセスの継続と強化」のみならず、「ミレニアム開発目標(MDGs)の達成と人間の安全保障の推進に向けた取り組みの倍加」にかかる現政権のコミットメントを再確認した。よって、2008年のTICAD IVにおける公約を達成するために全力を尽くすという日本政府の方針に変更はない。

ア フリカ大陸が直面し続ける諸課題に対し、第二回閣僚級フォローアップ会合はコミットメントと支援を力強く表明する機会となる。横浜行動計画が折り返し点に近づく中、同会合が、人間の安全保障を実現しつつ、TICAD IVの4本柱(成長の加速化、MDGs達成、平和の定着・グッドガバナンス、環境・気候変動問題への対処)すべてについて、バランスのとれた進捗を遂げるためのパートナーシップとアフリカの自助努力に対する支援を強化し、TICADの全ての関係者がさらに連携を深めつつ集中的な取り組みを行う基盤と推進力を提供することが期待される。

TICAD IV

年次進捗報告2009年 (ダイジェスト版)

目次

I. 概観	4
II. 成長の加速化	
1. インフラ	7
2. 貿易・投資・観光	10
3. 農業・農村開発	12
III. MDGs 達成	
1. コミュニティ開発	14
2. 教育	16
3. 保健	18
IV. 平和の定着・グッドガバナンス	20
V. 環境・気候変動問題への対処	23
VI. パートナーシップの拡大	26